

## 新型コロナウイルスに関する農林水産省対策本部（第5回） 概要

日時 : 令和2年3月4日(水) 17時00分～18時00分

場所 : 農林水産省第1特別会議室

出席者 : 江藤大臣、伊東副大臣、加藤副大臣、河野政務官、藤木政務官、事務次官、農林水産審議官、総括審議官(国際)、危機管理・政策立案総括審議官、統計部管理課長、報道官、消費・安全局長、大臣官房審議官(兼食料産業局)、畜産部長、経営局長、農村振興局長、政策統括官付農産部長、農林水産技術会議事務局研究総務官、林野庁次長、水産庁長官、北海道農政事務所長、東北農政局長、北陸農政局長、関東農政局長、東海農政局長、近畿農政局長、中国四国農政局長、九州農政局長

内容 :

### 1 本部長御発言(大臣)

農林水産省は、国民の皆様には食料の不足がでないように、安定的に食料を供給する責任がある。コメ、麺類、レトルト等が通常を大きく上回る売れ行きで一時的に一部のスーパー等で品薄となっているが、在庫は十分にあるので、消費者におかれては、冷静な購買を改めてお願いする。各局庁でもそれぞれの所管する業界や消費者へそういった情報の伝達をすること。

学校給食にも影響が出てきている。農林水産業、食品産業と意思疎通を密にして、あらゆるところにネットワークを張り、価格の変動、需給の状況等の詳細な把握に努めること。

一昨日に引き続き、本日も各局庁、地方農政局から農林水産業、食品産業への影響の報告を受ける。各局庁、地方農政局等からの報告を踏まえ、今後も会議を頻繁に行いながら、油断することなく、しっかり対策を進めていきたいと思っている。

最後に、卒業式、結婚式等イベントの延期の話も伝わってきているが、3月14日は「ホワイトデー」なので、是非、国民の皆様には「ホワイトデー」にお花をご活用いただき花の消費に繋げていただきたい。農林水産省を挙げて運動していきたいと思うので、ご協力をお願いする。

### 2 新型コロナウイルスの農林水産省における影響と対応について

各局庁、北海道農政事務所、東海農政局より説明

### 3 その他

<伊東副大臣>

新型コロナウイルスの感染者が1人出た瞬間からの対応のシミュレーションをしっかりとやらなければならないと思う。そのためには、動物検疫所や生産者団体等と綿密な打合せが必要になる。マニュアルは大事だが、家族経営の農家では1人が感染しただけで牧場、牛舎の搾乳を続けるのか等の判断を迫られる。食品を介して新型コロナウイルスが、うつることはないと言われていることから、搾乳は人手を借りてでも続けていただき、集乳は今まで通り行うことが大原則である。農林水産省の方針として、その点も意思統一しなければならない。

また、感染者が出たときに、いきなり消毒が必要と農家に言われても、噴霧器をどうするのか、どの消毒液を使えばいいかも分かっていない状況。農協においてもそれを指導できる人がいないとなると、現場は右往左往してしまう。更に消毒用アルコールは、

かなり品薄になっていると聞いており、いざ消毒が必要となった際に消毒用アルコールが手に入らないことも考えられる。

現場の意見を聞き、対処法、必要な物等を周知する必要があると感じた。大きな指針を農林水産省が示しているが、足りない部分はアドバイスをする必要がある。

#### <江藤大臣>

伊東副大臣の発言のとおり、家族経営の酪農家に感染者が出た場合は、搾乳機も含めて全て消毒をしなければならぬ。家族、研修生は全て濃厚接触者となるが、経過観測をしている間は自宅待機なのか、それとも営農を継続するのか。搾乳をしないと乳房炎で牛は死んでしまう。そういった事態は絶対に避けなければならない。

私としては、誰よりも北海道のことをよく知っている伊東副大臣に北海道に行っていただくことも選択肢ではないかと思う。

林野庁から木材流通の市況について、全体として大きな影響は生じていないということだが、木材価格をグラフにしてみると大きく落ちていないだけだろう。もっとよく調べること。

新型コロナウイルス対応は、自然災害への対応と同じだと思って取り組んでほしい。

食料・農業・農村基本計画でも生産基盤の強化が議題だが、今やるべきことは、生産基盤の崩壊をいかに防ぐかに変わっている。考え方を誤ったら、北海道でも家族経営を中心に酪農家は離農するし、肥育農家も辞めてしまう可能性だってある。もっと高いところを見て、取り組んでほしい。

#### <藤木政務官>

食肉について、量販店での牛肉の売れ行きは良く、外食向けの減少分を補っているとの報告だが、私はそのような話は聞いていない。また、肉卸の方が言うには、この2週間消費が落ち込み、冷蔵庫に在庫が溜まり、早くから冷蔵しているものは冷凍に回すかギリギリの状況とのことだった。牛肉については、真剣に在庫を動かすことを考えなければならない。

#### <伊東副大臣>

農林漁業者から感染者が出れば、すぐに対応できるようにしたい。

#### <江藤大臣>

生産基盤の崩壊を防ぐための具体的な対応策について、各局庁しっかり出してほしい。

#### <藤木政務官>

このまま消費が滞ると、花は廃棄が出て被害が深刻になるのではないか。次期作に向けての支援も考えていかないと、何もありませんというわけにはいかないだろう。

#### <江藤大臣>

花は種類によって作期がバラバラで1年中栽培していたりするものもあり、次期作に向けた支援といっても難しいと思うが、何か考えないといけない。

6日（金）に改めて本部を開催する。

以上